

5月から「がん検診」が始まります

大丈夫を確かなものに！ がん検診でチェック



▲詳しくはこちら

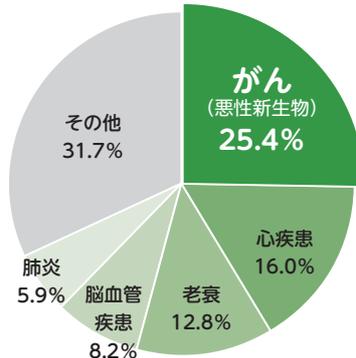
問合せ 健康政策課 ☎64-8992 ☎64-7172 📧ho-kenkou@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市のがんの状況

がんは、日本人の2人に1人が経験する身近な病気です。年間で38万人以上の命を奪い、死因の第1位となっています。

令和4年の統計を見ると、富士市でも、がんで亡くなった人が全体の25.4パーセントと、最も多い状況です。特に男性では50〜64歳、女性では45〜54歳と、働き盛りの世代のがんによる死亡が多い傾向にあります。

富士市の死因別死亡割合(令和4年)



出典：静岡県人口動態統計

有効ながん対策は「がん検診」を受けること！

がんは、生活習慣や感染など様々な要因で発症すると考えられています。生活習慣の改善や感染対策を行う、がんになりにくくすることは可能ですが、がんを完全に防ぐことはできません。しかし、国立がん研究センターが行った統計によると、早期発見ができれば90パーセント以上

のがんは治療できると言われています。そのため、有効ながん対策は「がん検診」を受けることです。

皆さんは、「自分はがんにならない」「まだ大丈夫」「時間が無い」「特に痛みもない」「がんが見つかるのが怖い」など、様々な理由から検診を遠ざけていませんか。早期のがんは自覚症状のないことが多いため、自覚症状のないうちに検診を受けることが大切です。自分のため、家族のために、がん検診を受けましょう。

『がん検診等受診券』が必要

がん検診を受けるには「がん検診等受診券」が必要です。検診対象者には、4月下旬に黄色い大きな封筒で送付します。

封筒には世帯員分の受診券が入っていますので、届いたら必ず確認してください。



▲封筒見本

「けんしんガイド」を見て

事前予約

がん検診は全て事前予約が必要です。

個別検診(医療機関)

▼直接医療機関へ申込み

集団検診(フイランセなど)

▼予約センターへ申込み

予約センターへの申込みは、電話のほか、ウェブサイトからできます

す。ウェブサイトでは、24時間申込ができます。予約方法など詳しくは、受診券と同封する「けんしんガイド」で確認してください。

自己負担金

がん検診の受診費用は、7〜8割を市が補助をしています。さらに、特定の年齢の人は、自己負担金が無料になるものがあります(左表)。検診の種類によって自己負担金は異なりますので、「がん検診等受診券」と「けんしんガイド」で確認してください。

自己負担金が無料になる年齢(今年度到達する年齢)

子宮頸がん検診	21歳
大腸がん検診	41歳
乳がん検診	41歳
肝炎ウイルス検診	41・46・51・56・61・66歳

受診結果が

要精密検査になったら…

より詳しい検査を行い、本当にがんがあるか調べる必要があります。必ず精密検査を受けましょう。



▲受診券(左)とけんしんガイド